

令和6年度 第1回流山市立常盤松中学校区学校運営協議会 議事録

2024.5.14 火 午前 10:20

会場: 流山市立八木北小学校

出席者: 流山高校校長 豊野(会長)
八木北地区社会福祉協議会会長 龍田
東初石3丁目自治会長 嶋田
地域協働本部 高木
常盤松中PTA会長 石内
常盤松中学校校長 佐藤

主任児童委員 中村(副会長)
流山ゴーヤクラブ名誉会長 松島
民生委員・児童委員 武藤
地域協働本部 西尾
八木北小やぎきたっ子の会会長 松岡
八木北小学校校長 橋本

1. 今年度の学校教育方針について

八木北小学校

【豊かな未来を拓く子どもの育成ー自分が好き・みんなが好き・ふるさとが好きー】
やさしい子・きもちのいい子・きょうみをもつ子・たくましい子をキーワードに
更なる教育活動の充実に努める。

常盤松中学校【自ら「学ぶ・鍛える・磨く」】

学校教育目標に“自ら”を加えた。子ども達の心と身体の安心・安全について、慣例にならうのではなく、子ども達にとってより良い方へ変革している。また、たしかな学力の育成のために教師力・授業力アップに力を入れている。

質問事項

- 昨年度の学校教育方針に対する反省はいつするのか？
⇒保護者・子ども・教職員・地域に向けて学校アンケートを行っている。その結果を第3回学校運営協議会で周知し、反省としている。
- 教職員の働き方改革の点で、先生の負担軽減をすることによって、子どもと接する時間に影響がないか？若い先生の指導も不安がある。
⇒教育課程を変更するなど、先生の負担軽減をすることで子どもと接する時間を確保している。学校としてベテラン層による若い先生に対する支援も行っている。

2. 協議

ー SNS について ー

- ◇中学校では SNS 絡みの問題が多い。スマートフォンの使い方について業者から講習を受けているが、問題は無くならない。
- ◇SNS は家で使用している。これは家庭での指導が必要になるのではないか。保護者向けに指導方法・事例を周知するのはどうか。
⇒事例は個人情報のため、開示は難しい。体育館で講習を行う日などは、保護者も参加出来るようにしている。
- ◇高校でも、SNS に関する指導を行っているが、責任はサービスを受けている人にあると考えている。

— 見守りについて —

- ◇見守りをしている保護者から、報告があった。
毎朝の見守りで、行動・言動が気になる児童がいた。見守りの保護者から声をかけて様子を見ていたら、徐々に児童の様子が良くなった。毎日の声かけで児童の支援に繋がった。
- ◇登校時間が遅いと、保護者が仕事に出ている家庭は、通学路を子どもだけでうろうろしていることがある。そんな子がいないかどうかを見守るのが地域の役割ではないか。

— その他協議事項 —

- ◇教職員の業務量が多いことが問題視されているが、教員免許が無くても学校に関することで協力出来ることはある。任せられることは地域に任せていきたい。
- ◇福祉教育に力を入れていることから、学校活動として、老人ホームで交流を行うのはどうか。